

日本マッサージ新報

平成30年1月1日（月曜日） 第83号



公益社団法人日本あん摩マッサージ
指圧師会のシンボルマーク

発 行

公益社団法人 日本あん摩マッサージ指圧師会

発 行 人：安田 和正

編集・印刷人：野本 矩通

事務局内で製版・印刷・製本

点 字 版：日盲連点字出版所

音 声 版：日盲連録音製作所

〒169-8664 東京都新宿区西早稲田 2-18-2

日本盲人福祉センター内

電 話：03-3200-0031

F A X：03-5285-9003

振替口座：00140-7-122100

Eメールアドレス：info@nichimakai.or.jp

目 次

巻頭言「新しい年を迎えて」	代表理事・会長	安田 和正……………2
新年のご挨拶	副会長 広報担当委員長	野本 矩通……………3
「新年を迎えて」ご挨拶	副会長 学術担当委員長	系数 三男……………5
新しい年を迎えて	副会長 総務・会計担当委員長	小谷田 作夫……………5
【寄稿文】一般財団法人一校のゆめ財団とその理念		
	一校のゆめ財団専務理事	藤井 亮輔……………7
第21回日本統合医療学会、マッサージ体験コーナー施術報告	小谷田 作夫……………8	
三療研修会の開催予定・開催結果		
第9 神奈川・千葉・埼玉合同技術研修会開催のお知らせ		……………10
理療研修センターによる医学研修受講報告		……………10
第8回 神奈川・千葉・埼玉合同実技研修会のご報告		……………11
東北ブロックでの初めての研修会開催		……………11
平成29年度 関東ブロック三療研修会のご報告		……………12
平成29年度 愛媛県・中央学術研修会のご報告		……………13
第30回 九盲連（九州地域）あはき研修会開催のご報告		……………15
平成29年度 中央三療研修会のご報告		……………16
平成29年度 第3回理事会開催結果のご報告		……………17～20
蓑田穂積理事の訃報		……………20

巻頭言

「新しい年を迎えて」ご挨拶

代表理事・会長 安田 和正

新年明けましておめでとうございます。

会員・賛助会員・関係各位の皆様、ご健勝にて良き年を迎えられた事と存じます。つきましては年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

この2018年は、陰陽五行説であるところの、戊戌（つちのえいぬ、ぼじゅつ）にあたり、新たに芽生えた意味や価値が、グッと成長することを示しているとも言われています。



代表理事・安田和正のご挨拶

現在、業界を取り巻く情勢は依然として厳しい状況にあります。平成医療学園における「あま指師19条違憲訴訟」問題は、根底から私達あま指師の生活権を脅かすものであり、断固許すわけにはいきません。療養費受領委任払い制度化も大詰めにかけておりますが、不正対策にかかる指定講習会の在り方等も大きな論点になっており、あまりにも安すぎる療養費もまた正念場を迎えております。

無免許・無資格問題もまた然りです。

本会もこれらの問題を含む、諸課題に関し、関係団体との共有をより強めていく所存です。

本会が、目標の柱としております組織改革の中での資質向上につきましては、第21回日本統合医療学会に参画。また、第1回東北ブロック三療研修会も始まり、今年度から、近畿・北信越におきましても研修会を実施する方

向にあり、この後も東海・南九州・北海道等各地で研修会を、日盲連のあはき協議会と共有しながら実施してまいります。関係の皆さんからのお声をお聞かせ下さい。

広報におきましても、本会パンフレットを作成。会報と合わせ点字版・拡大文字版も作成いたします。更に、HP・会報の充実。療養費の代理請求手続き等も合わせて障害者に対する合理的配慮も行っております。

日マ会も着実に会員増にあり、責任のある業団としての活動に邁進してまいります。みなさん、日マ会の中で希望を胸に一緒に頑張りませんか。「日マ会はあなたを、サポートします！」

～～ 新 年 の ご 挨 拶 ～～

副会長 広報担当委員長
野本 矩通

会員の皆様あけましておめでとうございます。

旧年中は、本会の活動にご支援ご協力をいただきましてありがとうございました。

昨年は、地球温暖化の影響でしょうか季節の変わり目がはっきりせず、大型台風やハリケーンが発生し大火にもみまわれ、アメリカにも大きな被害を及ぼしました。又、北朝鮮はミサイルや水爆の実験を繰り返し、日本国民に恐怖と不安を与え続けています。

一方、あはき業界に置かしては、去る11月5日に「あはき等法制定70周年記念の集い」が、あはき等法推進会議の主催により東京有明医療大学で行われ、各界より多数のご来賓をお迎えして盛大に開催されました。

第一部の式典では、厚生労働大臣表彰状の授与式が行われ88名の方が目出度く受賞されました。

本会からも、安田会長が受賞され、又他団体からの推薦により片岡理事と山口監事も受賞されました。改めてお祝い申し上げます。

第二部のシンポジウムでは、元参議院議員の阿部正敏先生が「法の制定や改正は、一般国民の利益のために行われるべきものでなければならない」ということを強調されていました事が印象に残りました。

あはき療養費の見直しに付いては、当会からも安田会長・小谷田副会長があはき療養費検討専門委員会に出席し、長年にわたる努力の結果、平成30年度から療養費受領委任払い制度が法制化される見通しとなりました。

又、長年に渡りご尽力いただきました高橋専務理事が10月末に日盲連を退職されました。しかし、日マ会の事務については今後もお手伝いをお願いします。

安田会長は、日マ会の大きな目標の一つである組織拡大に向け、全国の各ブロックに足を運び関係者と今後の地方組織の維持拡大に向け話し合いを重ね、成果を上げています。

広報部でも、組織拡大策の一つとして挙げられていたパンフレットを完成させることができました。これもひとえに安田会長・小谷田副会長・事務局はもとより広報委員の情熱と努力によるものと感謝しています。

発行に付きましては、後少し検討を重ね皆様のお手元にお届けして、日マ会の活動と入会によるメリットを十分にご理解いただき、組織の拡大に活用していただきたいと思います。

今年、私の夢はインターネットを介して東京と札幌を結び、四名の広報委員を中心に広報委員会を実現させることです。これに成功すれば、毎月行われているステップアップ会議に、各ブロックの担当理事さんに交代で参加していただき、情報の共有を一層密にしていくことができればと思っています。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、日マ会の発展をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

～～ 「新年を迎えて」 ご挨拶 ～～

副会長 学術担当委員長

糸数 三男

新年を迎えて一言ご挨拶申し上げます。会員の皆様にはご健勝のことと存じます。

永年住み慣れた京都から故郷沖縄への里帰りは、今の私を心身ともに癒してくれるには十分な環境でした。その反面、今までに数えきれないほどお世話になりました多くの人達のことは忘れることはありません。衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

そういった安らぎの思いをゆっくり感じさせない状況が、現在のあはきを取り巻く社会情勢です。こういう厳しい時だからこそ、関係の組織が一つになって、冷静な判断と行動をしていかなければならないと考えます。私も微力ながらお手伝いをさせていただきますので、宜しく願いいたします。

ともあれ、やはり健康が第一です。釈迦に説法かもしれませんが、体調管理をしっかりして事にあたりましょう。

皆様にとって、また、あはき業界にとりましても、佳き年になりますように祈念いたします。

～～ 新しい年を迎えて ～～

副会長 総務・会計担当委員長

小谷田 作夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えの事とお喜び申し上げます。

昨年は、3月27日、第15回あはき療養費検討専門委員会において、療養費の見直しが取り纏められました。これは、平成30年度中に受領委任制度の導入と不正対策を合わせて実施できるよう準備。不正対策は実施できるものから先行して実施する事となりました。

本年は、4団体が更に結束して、受領委任制度における「指定更新研修」、「集団指導研修」の受講義務化に関しての要求を達成する事が重要です。

また、11月5日、「あはき等法制定70周年記念の集い」が東京有明医療大学において開催され、安田会長、片岡理事、山口監事が晴れの厚生労働大臣表彰を受賞されました。

誠におめでとうございます。正に、日マ会が大きく飛躍した年でありました。

一方、日マ会本部においては、10月より4人での新事務局体制の基に、東京、神奈川、千葉、埼玉の理事、監事が一体となって足場を固め、情報の共有化を図り、日マ会が心機一転ステップアップするための「ステップアップ会議」を開催してまいりました。

そして、11月15日、内閣府が法人改革の一環として行う内閣府、参事官による「立ち入り検査」が公益社団法人に移行後初めて行われました。この初めての大きなハードルである立ち入り検査に対しては、高橋専務理事を中心とした新事務局体制の努力の基に、安田会長、田辺監事、小谷田による対応によって無事終了することが出来ました。

そして、内閣府より「思っていたより、適正でした」との好評価を戴くことが出来ました。

以上のように去年は大きな成果と飛躍を得ることが出来ました。これは、事務局と理事、監事の結束力の強化をはじめ、会員皆様のご支援ご協力の結果で成し遂げる事が出来ました。

本年も課題は山積されておりますが、安田会長を先頭に「あなたへのサポート、日マ会！」のキャッチコピーをもって、組織拡大・拡充を成し遂げ、国民から、そして会員の皆様から大きく信頼、期待されるよう、力を合わせて前進して参りましょう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

日本あん摩マッサージ指圧師会 パンフレット

<入会のご案内>

○会員種別と入会資格
正会員
あん摩マッサージ指圧師免許保有者
(その他団体への加入が必要)

賛助会員
当会の趣旨にご賛同いただける方
各種福利厚生制度が利用できます。

○入会方法
まずは、日本あん摩マッサージ指圧師会
事務局へご連絡ください。必要書類等につ
いて、ご説明させていただきます。

○入会金及び年会費
入会金 1,000円
年会費 6,000円
※ (別途、初年度料への入会金・年会費がかかります)

その他に不明な点がございましたら、
下記までお問い合わせください。
日本あん摩マッサージ指圧師会 事務局
TEL: 03-3200-0031
FAX: 03-5285-9003
Mail: info@nichimakai.or.jp

<アクセス>

〒169-8604
東京都新宿区西早稲田2-18-2
日本老人福祉センター内
TEL: 03-3200-0031
FAX: 03-5285-9003
HP: <http://nichimakai.or.jp/>
Email: info@nichimakai.or.jp

交通
・東京メトロ有楽町線
西早稲田下車 徒歩3分
・有楽町線・西武新線
高田馬場駅下車 徒歩10分

公益社団法人
日本あん摩マッサージ指圧師会
03-3200-0031
2017年11月23日現在

あなたをサポートする、日マ会
NICHIMAKAI
公益社団法人
日本あん摩マッサージ指圧師会

一般財団法人一枝のゆめ財団とその理念

～ プラザ館に架ける三療のゆめ ～

一枝のゆめ財団専務理事

藤井亮輔（筑波技術大学教授）

2017年6月9日、「一枝のゆめ」を冠とした誠に小さい治療院が東京都北区赤羽にお目見えしました。母胎となった「一枝のゆめ財団」の誕生の「ヒストリア」と事業の概要を紹介し、財団へのご理解に浴したいと思います。

ご存じのとおり、あん摩・はり・灸は江戸の社会に根を下ろし世界に類のない医療文化を築き上げてきました。この三療が今、未曾有の危機に直面しています。経営難に陥る業者が急増しているのです。昨年の調査では年収300万円未満の業者が視覚障害者の7割、晴眼者でも半数を占めるまでになりました。このままでは、三療文化は廃れてしまいかねません。

そこで、2017年3月、理事長に矢野忠先生（明治国際医療大学副学長）、副理事長に坂井友実先生（東京有明医療大学教授）を頂き、多くの方々の物心両面にわたるご支援の下、「業に従事するすべての人々の幸福を追求」することを理念に掲げて「一枝のゆめ財団」が産声を上げました。有り体に言えば三療界に元気を吹き込む活動を目指す財団です。「一枝」の名称は、聖武天皇が大仏造営にあたり「ひと枝の草、ひとすくいの土でも」と寄進を呼びかけた故事に因んで命名しました。

この理念を実現するため五つを基本ミッションとします。①高い資質を備えた鍼灸マッサージ師の育成、②三療の魅力・価値の発信、③視覚障害者の就労・経営支援、④地域で暮らす人々や労働者の健康づくり支援、そして、これらの活動を推進する拠点施設として、⑤「三療プラザ館」（東西医学リエゾン型の研修センター）の建設（東京の真ん中に）です。

この“ゆめ”を追いかけるべく、2018年度は公益化を実現させた上で、次の事業を企画・展開する予定です。①施術所運営の継続、②研修生の募集と教育、③あん摩技能コンテスト（あん摩甲子園）の開催、④鍼灸マッサージ師のための明日から役立つセミナーシリーズ（リハビリ入門、オイルマッサージ、低周波鍼通電療法の実際など）、⑤健康をテーマにした市民公開講座

の開催、⑥就労継続支援事業所（A型）の開設準備

⑦三療社会学関連の調査・出版事業

理念や活動の概要を述べさせていただきましたが、財団では賛助会員の組織として「一枝のゆめクラブ」を運営し会員を募っています。また、「三療プラザ館」の建設寄付金の募金活動も行っております。詳しくはホームページをご覧ください。

以上、当財団の設立趣旨をご理解の上、これらの活動にもご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

～～ 第21回日本統合医療学会、マッサージ体験コーナー施術報告 ～～

副会長 小谷田 作夫

11月25日（土）・26日（日）、東京有明医療大学キャンパスにおいて第21回日本統合医療学会「患者中心の医療」が開催されました。

統合医療とは、単に近代西洋医学と相補・代替医療を組み合わせたものではなく、体と心、予防と治療、部分と全体、エビデンスのあるものとなないもの、生と死などすべてを統合したものといわれています。

そして今回の合同学会は発足から数え年で20年、そして日本ホリスティック医学協会は発足30年の節目であることを初めて知りました。

日マ会が本学会のマッサージ体験コーナーにおいて初めて施術担当することに至った機会は、安田会長の多大な折衝力、ご尽力の賜物であります。また、本学会が20年目にして初めてのマッサージ体験コーナーが実現したという事に驚きました。つくづく大舞台でのマッサージのアピール等が欠如していたかが伺えます。

本学会（渥美 和彦名誉理事長）は、日本ホリスティック医学協会（帯津良一名誉会長）との合同企画・開催でありました。そして、協賛企業・団体は56社にも及んでおりました。参加者は、2日間で全国からの会員約2000名が参加されました。会場は9会場、体験コーナーは鍼灸、マッサージ、伸縮テープ、アロマの4会場です。

本体験コーナーの責任者は、水出 靖先生（東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科）と安田 和正日マ会会長であり、私が実務担当責任者として任命されました。そして施術者は、田村理事、笹原理事、小暮理事、神奈川の金子会員、長岡会員、佐藤会員、小谷田の7名で2日間を担当しました。施術ベット4台、2日間での合計施術人数は105名（男性23名、女性82名）。（因みに鍼灸コーナーは93名）でした。

施術希望者は学生さんの受付体制で予約、案内がされ、施術時間は15分で行いました。患者さんの主訴は肩が辛い又は痛いが最も多く、次に首・頭、腰・臀部がほぼ同数でした。患者さんは、全国からの医師、歯科医師、看護師さん達の医療関係者がほとんどで、多くの皆様にマッサージの素晴らしさを与え、日マ会のアピールが出来たと確信しております。そして、この日の為に新たに作成した日マ会のパンフレットを配布出来たことに関係者の皆様に感謝申し上げます。また、安田会長を先頭に、施術を快諾された皆様に感謝申し上げます。

次回の学会は、今年の10月7日（日）、8日（月）、札幌市立大学、桑園キャンパスで開催されます。会員の皆様、私も参加します！という積極的なお声をお待ちしております。日マ会ここにありというアピールを抱いて、今から参加されるご準備をお願い致します。



～～ 平成29年度 三療研修会開催・計画のご案内 ～～

第9回神奈川・千葉・埼玉合同技術研修会

開催日時・場所	事業内容・講師等	参加費用
平成30年02月04日(日) 13:30～16:00 日盲福祉センター2F 研修室 新宿区西早稲田2-18-2 電話：03-3200-0031 申込締切：01月19日	研修Ⅰ：13:30～16:00 (3単位) 講師： 筑波大学理療科 非常勤講師 木下 誠先生 テーマ： 「テンミリオン指圧の 側臥位療法」	資料代として 会 員：1,000 円 会員外：2,000 円 研修会終了後 懇親会あり 事前申込み制 会費 3,000 円

～～ 地域団体における三療研修会等活動報告 ～～

☆☆理療研修センターによる医学研修受講報告☆☆

平成29年7月2日(日)、北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センターの年間カリキュラムに盛り込まれている医学研修が、同センター2階第1研修室に於いて開催され50名を超える受講者がありました。

午前は、(医)札幌手術センター麻酔クリニック副院長・金谷潤子先生による「在宅緩和ケア」について、午後は、札幌医科大学救急医学講座助教・山岡歩先生による「こんなときどうする？緊急時の対応」についての研修でした。

私達あはき師は、地域包括ケアシステムの中に於いて、介護予防者として『機能訓練指導者』に位置づけられております。このような医学研修を受ける事は医療の一端を担う者としての資質向上に繋がるものであります。



講演をする金谷潤子先生

Q: 緩和ケアとは

A: 癌による身体的精神的な苦痛を和らげ、自分らしい生活が送れるように医療や介護福祉の色々な職種がチームを組んで、患者や家族を支援する事をいう。

☆☆ 第8回 神奈川・千葉・埼玉合同実技研修会のご報告 ☆☆

平成29年7月2日(日)午後1時30分より日本盲人福祉センター2階研修室に於いて合同実技研修会が開催され、15名(会員外2名)の施術師が参加されました。

講師はシオノ指圧治療院院長・塩野泰利先生で、先生は五味整体の使い手であり、五味式を超越した塩野式で独自の臨床経験を併せた施術をされています。

講義については、簡潔に判りやすく進められ、実技指導については二人一組で実技を実践し多くの時間をさいての指導となりました。



講義をする塩野先生



足技による骨盤調整の実技

特徴としては主に足技を使い、患部の硬結の取り方や臀部とハムストリングスをアプローチすることにより骨盤を調整する方法を指導して戴いた。又受講者も熱心で予定時刻を大幅に超過する程の熱の入れようで、大盛況で閉会いたしました。

～～ 東北ブロックでの初めての研修会開催 ～～

平成29年8月19日(土)仙台市市民会館1階第2会議室にて、第1回目の研修会ということもあり、受講者等危惧されましたが、高橋会長をはじめとして東北ブロックの皆様方のご協力をいただき、盛会の内に終了することができ感謝の一言です。

仙台市視覚障害者協会高橋会長の進行で始まり、小川協議会会長から日盲連関係の現状、安田日マ会会長から日マ会&業界の中央情勢報告、岩手県視覚障害者協会及川会長から仙台市地裁において進められている「あはき十九

条訴訟」に関して報告があり質疑に移った。

- ① 今回の報告・研修を受けて痛切に感じたことは、我々がもっと専門性を高める必要がある。
- ② 今回の裁判の意味合いを、もっと身近な問題として真剣に考えなければならない。
- ③ その他、あはき全般に関する意見が出された。

これからも、地域での意見をしっかり聞いて、問題点を中央にしっかり反映していかなければ、この業界の未来は厳しい。

次に安田会長の講師紹介から始まり、星先生の座学の講義が午前中より開始され独特の語り口調で座学が進められ、終始リラックスムードで終わりました。

午後は、実技研修に入り、認知症予防の各種体操からはじまり、その後、各関節の可動域訓練、筋力強化訓練、徒手抵抗による訓練、ストレッチ訓練等盛りだくさんの内容でしたが、星先生の手取り足取りの指導に、受講者も積極的に応じていたのが印象に残りました。最後に、モビライゼーションのお話等お二人の質疑があり、無事に終了いたしました。

星先生、受講者のみなさんご苦労さまでした。

☆☆ 平成29年度 関東ブロック三療研修会のご報告 ☆☆

平成29年9月2日（土曜）午前10時より、東京都新宿区の「東京都盲人福祉センター新館 2F 研修室」を会場に「平成29年度日マ会・日盲連あはき協議会・都盲協・東マ会」共催で三療研修会を開催した。

当日の講師と内容は以下の通りです。

午前の部 （10時～12時15分）

講 師：つくば国際大学医療保健学部理学療法学科 元・教授 星 虎男先生

テーマ：スポーツマッサージの臨床～スポーツマンの障害の予防と記録向上のために～

午後の部 （13時から15時30分）

講 師：筑波技術大学保健科学部 教授 藤井 亮輔先生

テーマ：地域健康づくり講習：治療あん摩の実際

～眼精疲労性の症状に対するあん摩術～

午前・午後とも、最初にテーマに沿って概要を講演し、後半は演台前に施術ベッドを設置して実技を行った。

患者役の受講者が実際に治療を受けると、どの部位にどのような感覚が生じてくるか等を述べ、講師がその反応を更に解説しながら施術を進めた。

全ての手順を終えたのち質疑応答の時間を設け、一層の理解促進に努めた。受講者は53名と多くの参加者があった。



星 虎男先生の実技指導



藤井亮輔先生の実技指導

☆☆ 平成29年度 愛媛県・中央学術研修会のご報告 ☆☆

平成29年10月1日（日）午前10時より、愛媛県視聴覚福祉センター4階の和室において、主催（一社）愛媛県視覚障害者マッサージ師会・共催（公社）日本あん摩マッサージ指圧師会による、平成29年度中央学術研修会が開催されました。

テーマ：スポーツ傷害におけるアプローチの仕方

講師：平畑 茂樹 先生

（医療法人ミネルワ会 渡辺病院 リハビリテーション科 理学療法士）

参加者：40名

【午前の部・講義】

午前中は、スポーツ傷害の総論としての講義と障害の予防とスポーツ能力の向上のためのテーピングを実際に貼っていただき体験をしました。

総論では、国内外の競技別の人口の割合で国内では、ウォーキング・ジョギング・水泳といった個人競技が多く、海外では、バスケットボール・サッカー・ハンドボールなど球技の人口が多く国によって競技人口が違っていました。

また、スポーツ傷害と外傷の相違点、スポーツ障害の原因と予防などの話をさせていただきました。

テーピングの実演では、テーピングの種類と目的を話していただき、参加者全員の各関節に張っていただきました。

【午後の部・実技指導】

下肢に対するスポーツマッサージを参加者が二人一組となり、下腿部・膝関節・足関節の順で先生の講義と実演を交えながら学習しました。

参加者より、下肢のマッサージで気をつけることは？という質疑に対し、リンパの部分を含め、力を抜いてやわらかく施術するといわれていました。



平畑先生より実技指導を受けている会員

【学術研修会 総括】

今回の講師は、初めての試みで理学療法士の先生をお招きし、マッサージ師とは異なる観点からの治療に関するアプローチの仕方を学びました。

また、他団体の会員・理療系の学生・先生も参加をいただきました。

参加者全員が、テーマに興味を持っていたのと、実際にテーピングやスポーツマッサージを聞いてはいたけど実際には、知識的には、乏しいものだったと思われます。

新たな知識を習得し・収穫を得た一日になったと思われます。

☆☆ 第30回 九盲連（九州地域）あはき研修会開催のご報告 ☆☆

9月30日～10月1日、九州盲人会連合会（衛藤良憲会長）・特定非営利活動法人北九州市視覚障害者自立推進協会あいず（野村秀紀理事長）主催による、平成29年度第30回九盲連あはき研修会を開催し、九州各地から76名の関係者が参加した。

1日目の開会式では、九盲連・衛藤会長の挨拶の後、NPO法人あいずの野村理事長が歓迎の言葉を述べた。続いて、日本盲人会連合の竹下義樹会長にご祝辞をいただいた。いずれも、視覚障害を有するあはき師にとって厳しい情勢が続いているが、制度改革や権利を守る運動と並んで、知識・技術の向上が重要であること、研修会を継続し、一人でも多くの視覚障害者が受講することが望まれる旨の内容が含まれていた。

続く講演Ⅰでは、引き続き日盲連の竹下会長に、あはき業の現状と課題についてお話しいただいた。

講演Ⅱでは、医療マッサージ・機能回復訓練・運動療法の分野として、「林・ゆうきプログラムによる脊柱管狭窄症の運動療法」について、元福岡県立福岡高等視覚特別支援学校主幹教諭の緒方伸彦先生が、実技を交えてお話しされ、参加者がベッドを囲んで熱心に観察する姿が見られた。

1日目の講演終了後の担当者会議では、九州各地での無免許者対策や訴訟への対応などの情報交換を行い、その後開かれた懇親会では参加者がにぎやかに交流していた。

2日目の講演Ⅲは、医の倫理の分野で「多死社会を幸せにする仕事」をテーマに、長野市から愛和病院副院長の平方眞（ひらかたまこと）先生にお願いいただき、講演していただいた。

閉会式では、まず受講終了証授与を行い、九盲連の衛藤会長から終了証が受講者代表に手渡された。

次期開催地の福岡県盲人協会・池田会長のご挨拶をいただいた後、開催地のNPO法人あいず・野村理事長が閉会の挨拶を行い、二日間の研修会を終えた。

☆☆ 平成29年度 中央三療研修会のご報告 ☆☆

平成29年10月15日（日曜）午前10時より、東京都新宿区西早稲田の「日本盲人福祉センター2階研修室」を会場に「平成29年度日マ会・日盲連あはき協議会」共催の 中央三療研修会が開催しましたのでご報告致します。当日は、30名（うち非会員が2名）の方に参加いただきました。

【午前の部】（10時～12時15分）

テーマ：

今後の「受領委任制度のあはき師の療養費支給申請のあり方」について

講師：公益社団法人 日本鍼灸師会

業務執行理事 研修事業担当 中村 聡 様

そもそも「あはき療養費の制度」とは？というところから講義が始まり、「保険者の支払いが厳しい背景」、「あはき療養費に導入が検討されている、受領委任制度」等についてお話ししていただきました。

また、中村先生が、あはき療養費検討専門委員会にご出席されていることから、これまでの委員会で重ねられた議論の経緯についても説明がなされました。

【午後の部】（13時15分～15時30分）

テーマ：「背部痛の組織選択的マッサージ治療の実際」

講師：吉川はり物療院 院長 吉川 恵士 様

前半は、座学による講義を行い、後半はベッドを設置し、受講者1名をモデルとした実技を行いました。実技中は、ベッドの周りに受講生が集まり、先生が行う施術を間近に見て質問をしたり、実際に施術箇所にあたりたりといった形での講義が行われました。



中村 聡先生による講習風景



吉川 恵士先生による実技の様子

～～ 平成29年度 第3回理事会開催結果のご報告 ～～
(上半期事業報告等、監査実施報告含む)

開催日時：平成29年11月8日(水) 13:30～

開催場所：KIZUNA(キズナ) 会議室高田馬場

出席役員：代表理事を含む理事14名中13名の出席、監事2名出席。

理事会は定款第34条に則り成立した。

報告事項：1) あはき70周年記念式典報告

2) 療養費問題に関して

3) 各ブロック研修会に関して

4) 他団体の動向について

5) その他

議 事：第1号議案 各委員会体制について

第2号議案 今後の日マ会活動方針

第3号議案 慶弔規定について

第4号議案 その他

理事会開催に先立ち、午前10時30分より監査会を実施した。

監査人として山口監事、田辺監事、立会人として小谷田副会長、高橋専務理事が携わり実施された。監査結果として「事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書類」について精査した結果、一部に指摘事項があるも概ね適正に処理されているとの報告があった。

午後1時30分、高橋専務理事より定足数について「理事総数14名のうち過半数にあたる13名、監事2名が出席、理事会は有効に成立した」旨の報告があった。引き続いて小谷田副会長の司会により理事会の開会を宣言し、安田会長の「会長挨拶」のあと、定款第33条の規定により、小谷田副会長を議長として議事を進行。

まず、報告事項として各担当役員より、説明が行われ了解を得られた。次いで、事務局より審議事項の説明が行われた。

第1号議案

各委員会の体制について、高橋専務理事より以下の説明がなされた。

従来、公益推進会議を進めてきたが、名称を新たに「ステップアップ会議」とする。また、会議の議案書及び議事録については、会議の出席・欠席の有無にかかわらず、各役員に通知し情報の共有化を図る旨を説明。

新体制では広報委員会の第一回を開催し、11月25日までに当会のパンフレットを作成予定である。また、日マ新報の制作を11月18日に開催することも報告。議長は質疑の後、本議案について承認を求めたところ、出席者全員の挙手により承認可決された。

第2号議案

平成29年度上半期事業報告等について、高橋専務理事より以下の報告がなされた。また、下期に向けての収支改善計画（ホームページ・広報誌及びパンフレットなどに会員加入のメリット（あま師免許保有者外の加入）を掲載し、会員の増強を図る。また、広告を掲載し広告収入を得る。

組織強化として、全国各8ブロックの日マ会地域団体がない地域に於いて三療研修会を実施し、会員増強を図る。議長は質疑の後、本議案について承認を求めたところ、出席理事全員の挙手により承認が得られた。

I. 事業状況

1. 会員状況報告

1) 正会員数：1,496名（入会：112名、退会：46名）

2) 賛助会員：88名

2. 「健康保険療養費支給申請制度の普及・推進を図る事業」の報告

1) 保険部会員は242人

2) 療養費支給申請代行取扱件数及び事務手数料収入は

取扱件数：5,970件

支給決定金額 95,231,768円

（前年同期 99,426,162円）前年比 95.8%。

取扱事務手数料収入：3,806,462円

3) 療養費支給申請書審査状況(平成29年度上半期)

支給申請書の審査件数:5,970件、返戻件数111件、返戻率1.86%

3.「会員の福利厚生に資する事業」では、上半期に取り扱った賠償責任保険額の実績は

1) 保険料払込み金額:4,999,806円

2) 取扱い事務手数料:1,071,803円

Ⅱ. 収支概況

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益計	12,227,827	12,972,214	△744,387
(2) 経常費用計	5,305,702	5,697,849	△392,147
2. 経常外増減の部			
一般正味財産期末残高	6,023,119	5,335,678	687,441
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	6,023,119	5,335,678	687,441

Ⅲ. 会議等の状況

【内部会議】

1. 総務・会計委員会

1) 通常総会開催 平成29年6月11日(日)

2) 理事会会議 都合3回開催(臨時理事会を含め)

3) 監査 平成29年4月26日(水)開催

平成29年11月8日(水)開催

4) 公益法人推進会議 都合3回開催

2. 広報委員会(日マ新報発行・HPの更新)

1) 4月4日(火)以降 都合8回開催

3. 学術委員会

1) 4月12日(火)以降 都合6回開催

【外部会議】

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 4 団体長会議 | 7月12日(木)以降都合2回の会議に出席 |
| 2. 実務者会議 | 4月26日(木)以降都合3回の会議に出席 |
| 3. 療養費専門検討委員会 | 5月19日(金)以降都合2回の会議に出席 |
| 4. あはき等法推進協議会 | 4月21日(金)以降都合4回の会議に出席 |
| 5. マッサージ等将来研究会(生涯・教育部会) | 5月27日(土)以降都合2回の会議に出席 |
| 6. マッサージ等将来研究会(普及啓発部会) | 6月17日(土)以降都合2回の会議に出席 |
| 7. (公財)東洋療法研修試験財団 評議委員会 | 6月07日(水)の会議に出席 |
| 8. 医療関連職種21 団体協議会 | 4月18日(火)の会議に出席 |
| 9. 鍼灸マッサージを考える国会議員の会(議連) | 4月05日(水)の会議に出席 |
| 10. 東洋療法推進大会 | 9月24日(日)の会議に出席 |
| 11. あはき問題戦略会議 | 4月21日(金)の会議に出席 |
| 12. あん摩師等法19条連絡会幹事会 | 5月13日(土)以降都合2回の会議に出席 |
| 13. あん摩師等法19条関東協議会 | 5月13日(土)以降都合3回の会議に出席 |
| 14. (財団)あはき国家試験あり方検討委員会 | 5月24日(水)の会議に出席 |
| 15. 社会貢献活動並びにそれら会議 | 4月12日(水)の会議に出席 |
| 16. 日本の福祉を考える会 | 6月05日(月)の会議に出席 |
| 17. 全鍼師会 | 6月24日(土)～25日(日)の会議に出席 |
| 18. あはき師法制定70周年式典 | 5月31日(金)以降都合3回の会議に出席 |
| 19. 国会議員との打合せ | 8月21日(月)の会議に出席 |

第3号議案 慶弔規定について

高橋専務理事より、慶弔規定(案)の詳細説明が行われた。議長は本議案について承認を求めたところ、出席者全員の挙手により承認可決された。

第4号議案 その他について、議長より提案を求めたところ特になし。

以上を持って、平成29年度第3回理事会を閉会とした。

◆蓑田穂積理事の訃報

去る7月5日、当会の役員でありました蓑田穂積様をご逝去なされました。

蓑田様には平成25年から、約5年間にわたり当会役員としてご活躍いただきました。

ここにご冥福をお祈りいたします。